

---

# 魔法少女の世界

剎切雪乃

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔法少女の世界

### 【Nコード】

N4762S

### 【作者名】

刹切雪乃

### 【あらすじ】

最終回までのネタバレを含みます。

## 始まりと終わり（前書き）

終わりがあるから始まりがあるのではない。  
始まりがあるから終わりがあるのではない。

ならば、始まりは誰が決め

終わりは何を示すのだろうか？

## 始まりと終わり

桃の魔法少女、名を、鹿目まどか

黒灰の魔法少女を《お願い》で半永久に、時の廻りという牢獄に縛り続ける、残酷なモノ。

黒灰の魔法少女、名を、暁美ほむら

《約束》に捕らわれながら、打開策を模索する、時を廻るモノ。

白桃の少女、名を、鹿目まどか

魔法少女としての計り知れない素質を持たんとするモノ。

キュウベえ、真名を、インキュベーター

人間的感情を持たない完璧な合理主義者にして、奇跡と絶望を振り撒き歩くモノ。

魔法少女

希望を振り撒くモノ

魔女

絶望を振り撒くモノ

これは、その者達の、ココロにして、物語。

はたまた夢かもしれない。

何故ならこれは、有り得ることが有り得ない物語だから。

始まりがあるから終わりがある？  
終わりがああるから始まりがある？  
有り得ないなんて有り得ない？

そんなモノは、証明にも何にもなりはしない。  
なんの説明にもなりはしない。

何故なら、これはただの、夢の物語に過ぎないのだから。

黒灰の世界（前書き）

魔法少女、暁美ほむら

## 黒灰の世界

カチリ、カチリ、

非情に、歯車は廻る

事情など関係なく。

ただ冷酷に、残酷に

廻り続ける。

たとえ時間を戻せども、

分岐を派生させようとも。

ただ、廻る<sup>まわ</sup>、廻る<sup>めぐ</sup>。

小さな歯車は変えられようとも、

大きな歯車の、根本は変わらない。

否、変わる事を赦されない。

その事実を知りえたるのは、一人の少女  
否、魔法少女たる人間  
と異なる存在。

少女が望んだ奇跡は

「鹿目まどかを救いたい。この結末を、やり直したい」

魔法少女の叶えたい約束は

「キュウベえに騙される前の馬鹿な私を助けてあげて……」

結果としてそれは、魔法少女たる彼女を、半永久的ともいえる時間の牢獄に突き落とす事となるのだが、少女はそれをしらない。

否、知り得ていて尚、否定している。

《絶対に、まどかを救う…約束は破らない…》

そんな彼女が、どのように歯車を、世界を変えられるというのだろうか？

また、彼女は世界を廻る。

その世界が、残酷であると知りながら。

ただ《約束》を果たす為に

インキュベーターの手から、鹿目まどかを守る為だけに



桃の世界（前書き）

魔法少女、鹿目まどか

## 桃の世界

チクタク、チクタク…  
時は進んだ。

ただ冷酷に、残酷に。

非情にも、世界という砂時計は、  
ソレを刻み続けた。

青が魔女になろうとも  
黄が絶望し、赤の魂を砕こうとも

桃が黒灰を守る為、黄の魂を砕こうとも。

ただただ、進む、刻む。

周りの人間さえ救えずとも、  
私は皆が救われる事を、  
事象が変わる事を望んだ。  
けれど、変わる事は、  
けして、許されなかった。

足掻いた、もがいた、ただ救いたい一心で。  
そんな事、できないのに。  
私は、魔法少女たる、人間と異なる存在になったのに。

少女が望んだ奇跡は

「」

魔法少女が少女にしたお願いは

「馬鹿な私を助けてあげて…」

それがどれだけ残酷なのか知りもせず。

私は、彼女が断らないと知りながら、お願い、いや、押し付けた。

知り得ていて尚、その残酷さを、認めなかった。

《ごめんなさいほむらちゃん…私は…私は…》

私の《お願い》は、世界を変えられるといっただろうか？

私は《お願い》を知らない”私”になる。

その《お願い》が、残酷であろうとも。

インキュベーターの手から、暁美ほむらのココロを守る為に。

ほむらちゃんは強いから。

きつと、HappyENDを手に入れられるよ。

たとえ、その道がとてつもなく険しくとも

## 白桃の世界（前書き）

時間が戻り、

少女達はすれ違う。

そして、また時は戻り

黒灰は、桃を主軸とし世界を築いてゆく。

結果として、桃の少女は、特異点となった。

小さな歯車は書き換えられ、

大きな歯車は、崩れ去った。

運命は変わる事を余儀なくされ

世界は、桃の少女を概念に書き換えた。

その事実を知りえたるのは、黒灰の少女、桃の少女を特異点にした  
張本人。

そして、桃の少女の大事なモノ。

特異点、鹿目まどか

## 白桃の世界

ぐるぐる、ぐるぐる、

少女は、因果に囚われた。

過去も未来も関係なく。

因果の意図たる系に、

ただ少女は、囚われた。

そして少女は奇跡を叶え、

世界を書き換えた。

桃の少女が望んだ奇跡は

「 「

これが叶えば、私は恐らく、概念になるのだろう。

誰にも見えず、感知されず、認識されず、そして、誰が危険に陥ろうとも、干渉できなくなるんだろう。

でも、大丈夫。私は一人じゃないんだ。ほむらちゃんも、一人じゃない。

もう、希望を絶望で終わらせない

貴女達の今までの想い、無駄にしない

ほむらちゃんの望む形じゃ無いのかもしれないけれど…

でも、それでも私は、いつも、何時までも、この想いを貫く…

それは、少女の、無言の想い

少女の切なる願い

《さあ叶えてよ、インキュベーター！》

少女は、神と等しき概念となり、世界を変えてゆく

魔女の居ない世界へ。

希望を、絶望で終わらせない世界へ。

ただ《少女達の想い》を無駄にしない為に

偽善かもしれないし、

これは自己満足なんだろうと自分でも思う

それでも私は、この道を、選ぶよ

## 白桃の世界（後書き）

これにて連載は終了となります。

稚拙な作品となりましたが、最後まで読んでいただきありがとうございます。  
ございました。

黄色い《もう何も怖くない》な人や、赤い《一人ぼっちは寂しいもんな》な人や、青い《奇跡も魔法もあるんだよ！》な人が出てこないのは仕様です。

あくまで、ほむらとまどかだけです。

（キュウベえと魔女版青い子も書こうとして挫折したなんてことはありませんよ？別に、《キュウベえ動かし辛えんだよチクシヨウが！》だとか、《十話のループの時と本編軸で微妙に違うのなんでだろ…うーむ…わっかんねえ！もういいや！》なんてこと思ってませんよ。……嘘じゃないですよ？）

ちなみに

私の中のまどかは

博愛主義者なんだけど、実のところ、相手のことを考えているように見えて、まったく考えられてない子  
だったりします。

余談ですが

ハッピーエンドの為に青い子の早期離脱、もしくは、契約の阻止が必要だと思っるのは自分だけでしょうか？



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4762s/>

---

魔法少女の世界

2011年4月30日17時11分発行